

東京農業大学稲花小学校

学校だより【12月16日】第34号



子どもたちを守ろう

12月10日(火)午前10時から本校と警視庁との間で「児童・生徒の健全育成に関する警察と学校との相互連絡制度」の締結が行われました。その後、関係者には校内の見学もしていただき、本校のご紹介をいたしました。この協定により、子どもたちの安全確保や被害の未然防止等のために、また子どもたちの非行や被害に関して校長と警察がその必要性を認めた問題について、相互の連絡ができるようになりました。

加えて、スクールサポーター制度を利用して、今後は、交通安全教室の開催などもお願いしていく予定です。

とはいえ、子どもたちの安全のためには、保護者の皆さまのお力が一番大切です。日の短い季節は、すっかり暗くなる下校時の安全が特に気になります。危険を寄せ付けない通学中の態度、また、危険を察知したときはどう行動し、どこに助けを求めたらよいのかなど、折々、保護者の皆さまが子どもたちと一緒に通学路の点検をされることをお願いいたします。また、通学時間の長短に限らず、防犯ブザーの携行をお勧めします。

楽しいクリスマスファミリーコンサート

12月14日(土)に本校体育館で、東京農業大学第一高等学校・中等部吹奏部の皆さんによるクリスマスファミリーコンサートが行われました。本校の昇降口から体育館までクリスマスらしい飾り付けも施され、集まった子どもたちは、入り口でペットボトルのキャップでできたカスタネットをプレゼントされます。サンタクロースとトナカイの司会進行で、まずは様々な楽器の紹介からスタートしました。高い音、低い音、小さな楽器、大きな楽器…子どもたちは楽器に見入りながら、音の違いを体感していたようです。



さらには、クリスマスメドレー、アラジン、リトルマーメイドと楽しい演出と音楽は続き、パプリカでは音楽に合わせて踊る子どもたちの笑顔もほほえましいものでした。もちろん、プレゼントされたカスタネットも大活躍です。

中学校・高等学校の保護者の皆さまに加えて、本校の一年生の子どもたちとその保護者、さらには、2020年度4月からの入学予定者とその保護者、東京農大関係者と200名以上集まった参加者は、吹奏楽部の生徒からの音楽のプレゼントで、楽しいひと時を過ごすことができました。小さいお子さまをお持ちの保護者の皆さまも、中学校・高校に進んだわが子の姿を想像したにちがいありません。



クリスマスイルミネーションはじまりました

12月に入り、夕方になるとお隣の東京農業大学第一高等学校・中等部の正門付近では、並木のイルミネーションが目をひきます。今年から始まったこのイベントは、第一高等学校・中等部の教育後援会と同窓会の心づくし。勉強や部活動などで帰りが遅くなる生徒たちも、励まされることでしょう。アフタースクールで帰りの遅くなった本校小学校の子どもたちをも、やさしく照らしています。



2020 年度第一回入学者説明会

12月14日(土)午後には、2020年度第一回入学者説明会が行われました。10月の事前面接にはじまり、11月のペーパーテストと行動観察を経て、東京農業大学稲花小学校の入学試験に合格した72名の子どもたちとその保護者の皆さまが集まりました。最初の校長講話では、教育理念「冒険心の育成」への賛同、本校の運営と教育にご理解をお願いするとともに、人生における小学校時代の大切さ、親もまた成長が求められること、そして、信頼できる親や安心できる家庭があってこそ、子どもたちの小学校での学びや育ちがあることなどをお話いたしました。さらに、入学前の準備、健康、給食、アフタースクールなどに関する説明が行われました。

体育館での説明のあとは、待ちに待った制服の採寸、そしてランドセル、制帽、実習着、文房具などの選択や購入です。試しに被っている制帽姿も可愛いものです。また、たくさんある色の中から、好みの筆箱や下敷きの色を選ぼうとする真剣な表情も、頼もしいものでした。子どもたちと保護者の皆さまは、来年に開催される第二回入学者説明会を経て、4月の入学式を迎えます。

落ち葉を踏むのは楽しいね

東京農大世田谷キャンパス内や本校周辺は、紅葉・黄葉が落ち葉となって降り注いでいます。大学正門脇にある大きなイチョウ(銀杏)は、通学時の子どもたちが楽しむ(?)のにピッタリ。ます。吹き寄せられたイチョウの落ち葉を、みんなで踏んで楽しめます。様々な植物や動物が生物季節観測に使われていますが、イチョウの黄葉日は、「標本木全体を眺めたときに、大部分の葉が黄色に変わった状態になった最初の日」と定義されているそうです(気象庁HP)。季節を敏感に感じ、行事、食べ物、気象、動植物の変化にも興味を持つ子どもたちに育ってほしいものです。



校長 夏秋 啓子